

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出

施策番号	14-01-①
施策名	自然環境の保全

施策の概要

良好な環境を次世代に引き継ぐため、身近な自然に興味や関心を持っていただくための「いきもの調査」や良好な自然を維持している地域を保全する取組等を市民・団体・事業所等とともに進めます。

成果指標(単位)	自然環境保全地区(地区数)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	17	17	18	18
実績値	16	16	16	17	17

成果指標実績に対するコメント

令和2年度の目標値は18地区であるが、実績値は17地区となり目標値を下回った。
新たな指定に向けて、指定要件を満たす候補地の掘り起こしに取り組んだが、指定までに至らなかった。

施策の達成度評価

自然環境保全地区や保護樹木について、市ホームページやパンフレットによる周知等を通じて、自然環境を残していく大切さを知っていただく機会を提供した。
既存の自然環境保全地区や保護樹木を次世代へ引き継ぐことが課題と考えていることから、良好な自然環境として現状を維持し、保全していく必要がある。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方

自然環境保全地区や保護樹木の周知を行い、市民の身近な自然への興味関心を醸成するとともに、令和3年度に実施する自然環境保全地区危険木調査の結果をもとに行う危険木除去に要する経費への補助をはじめ、自然環境保全地区への助成、保護樹木の健康診断や補助金交付を行い、市域の良好な自然環境の保全に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	自然環境保全地区の啓発・保全に寄与した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営業務	環境政策課
基本計画策定事業	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出

施策番号	14-01-②
施策名	環境学習の拡充

施策の概要
 環境学習等に関わる様々な情報の提供や発信、環境学習に取り組む人・団体等の活動支援を図りながら、市民・事業者・行政等の連携を拡充し、市全体のエコミュージアムの取組を推進します。

成果指標(単位)	こども環境会議の参加団体数(団体)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	57	60	63	65	
実績値	53	57	55	64	0

成果指標実績に対するコメント
 令和2年度に開催を予定していた第20回草津市こども環境会議は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず、延期することとした。

施策の達成度評価
 環境基本計画に基づき、環境学習社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施したが、こどもと大人が環境について議論する場、活動を発表する場であるこども環境会議は新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず、来年度に延期した。このことから、こども環境会議に参加する予定であった団体等が取り組んだ内容を記事にした壁新聞をエコスタイルプラザに展示し、来館者に対し、啓発を行った。今後はオンラインによる開催等、コロナ禍の中にあっても実施できるような手法の検討が必要である。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議では、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、事業所や団体等に参加の呼びかけを行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染症の影響により、啓発活動が十分に出来ない状況であった。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	くさつエコスタイルプラザ	△	教材貸出事業や講師派遣事業を推進したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により啓発活動が十分にできなかった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-③	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	良好な環境の保全と創出
施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進		

施策の概要

河川の水質等に係る環境調査を継続的に実施するとともに、環境負荷の低減のため事業所等の適切な指導に努めます。

成果指標(単位)	環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)(回)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	24/24	24/24	24/24	24/24	24/24
実績値	22/24	23/24	19/24	17/24	18/24

成果指標実績に対するコメント

令和2年度は、昨年度に引き続き狼川のみで、年間12回の測定のうち6回が未達成となったものの、伊佐々川で12回すべてが基準値内となり、全体の達成回数は増加した。なお、狼川流域の工場排水調査を重点的に実施し原因特定を目指したが、原因特定には至らなかった。

施策の達成度評価

調査の結果、狼川で12回の測定のうち6回が環境管理基準を超過したため、今後も河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく必要がある。また、特異な状況が確認された際には、随時原因を調査し、流域の事業所指導を継続していく必要がある。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方

河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境調査事業	環境政策課	○	環境管理基準(BOD)を概ね高い水準で維持できている。
事業所等指導事業	環境政策課	○	定期的な事業所立入り、環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道維持管理負担金事務	河川課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
浄化槽法指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	低炭素社会への転換

施策番号	14-02-①
施策名	様々な主体が参画するプラットフォームの拡充

施策の概要
 様々な主体が参画するプラットフォーム(基盤組織)である「草津市地球冷やしたい推進協議会」の会員数の増加によるネットワークの拡充を図り、低炭素社会への転換に向けた取組を推進します。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	74	76	78	80	
実績値	71	72	72	73	75

成果指標実績に対するコメント
 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者や団体等への啓発機会が少ない中で、新たに「愛する地球のために約束する協定」の締結に基づき協議会の会員(協定会員)が2者増えた。さらなる会員数増加のため、多くの事業者に対し参加を求めていく必要がある。

施策の達成度評価
 市内事業者等への呼びかけによる「愛する地球のために約束する協定」の周知活動の結果、新たに協議会員を得ることができた。しかしながら、草津市地球冷やしたいプロジェクトの推進や各イベントでの啓発活動等については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができなかった。今後は、コロナ禍の中にあっても啓発活動等が実施できるような手法の検討が必要である。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 「愛する地球のために約束する協定」の締結をはじめ、様々な主体が自主的に脱炭素社会への転換に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、その活動を促すよう情報提供やネットワークの拡充を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染症の影響により、草津市地球冷やしたい推進協議会における各種啓発や研修などの活動は中止となった。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	くさつエコスタイルプラザ	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、草津市地球冷やしたい推進協議会の啓発・広報活動等の機会は減少したものの、会員各自での取組を継続的に実施したことにより、会員数が増加した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	低炭素社会への転換

施策番号	14-02-②
施策名	省エネルギー・新エネルギー利用等の推進

施策の概要
 イベントや助成制度等を通じ、省エネ・省CO2の推進、新エネルギー利用等の普及啓発を図り、環境に配慮したまちづくり(スマートエコシティ)に寄与していきます。

成果指標(単位)	イベントにおける省エネ・新エネに係る啓発者数(人)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		1,860	1,920	1,980	2,040
実績値	1,780	2,300	4,383	5,839	568

成果指標実績に対するコメント
 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が中止または、規模の縮小となり、市内各所でのイベント参加者やくさつエコスタイルプラザへの来場者に対する啓発機会が減少したものの、開催されたイベントには可能な限り参加し、省エネルギーおよび再生可能エネルギーに関する啓発を行った。

施策の達成度評価
 例年であれば、宿場まつりのほか、様々なイベントに参加し啓発できていたものが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の延期、中止や参加人数の縮小となり、啓発する場が減少したが、地球冷やしたい推進フェアや環境学習セミナー等において、可能な限り省エネルギーおよび再生可能エネルギーに関する啓発を行った。今後はオンラインによる開催等、コロナ禍の中にあっても実施できるような手法の検討が必要である。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 国が宣言した2050年カーボンニュートラルをきっかけとして、地球温暖化対策の必要性を広く訴えるとともに、温室効果ガスの削減のための省エネルギー機器の導入や更新の必要性など、カーボンニュートラルに向けた様々な施策や情報提供を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の延期、中止や参加人数の縮小となり、啓発活動が十分に出来ない状況であった。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	くさつエコスタイルプラザ	○	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、省エネルギーや再生可能エネルギーに関して、可能な限り、啓発や周知活動を行った。
広報啓発活動事業	くさつエコスタイルプラザ	○	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、可能な限りイベント等を開催し、環境保全に関する活動を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築

施策番号	14-03-①
施策名	廃棄物の発生抑制・再使用・資源化の推進

施策の概要

廃棄物の発生抑制と再使用による廃棄物発生量削減の取組と、資源化による処分量削減の取組を推進します。

成果指標(単位)	ごみの資源化率(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		21.8	22.3	22.8	23.4
実績値	20.2	19.3	19.2	19.1	18.7

成果指標実績に対するコメント

資源ごみ量のうち、古紙類が近年減少傾向にあり、令和2年度の集団回収量は2,586tで、前年度の3,197tに比べ611tの減少となった。一方で、全体のごみ量も令和2年度は42,510tで、前年度の43,637tに比べ1,127t減少したが、令和2年度における「ごみの資源化率」は、目標値の23.4%に対して、実績は18.7%となり、目標に達しなかった。

施策の達成度評価

『草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』に定める1人1日あたりのごみの排出量の目標について、家庭系ごみの目標値430g/人・日に対して463g/人・日、事業系ごみの目標値265g/人・日に対して245g/人・日となっており、事業系ごみは目標値を下回っているものの、家庭系ごみが、クリーンセンターへの直接持ち込みの増加に伴い近年増加傾向にある。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方

『草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』に基づき目標達成に向け取り組んでいく。家庭系ごみについては、焼却ごみ類に多く含まれる古紙類の分別の徹底、食品ロス問題の啓発による生ごみの削減を中心に取り組み、事業系ごみについては、引き続き事業所に対するごみの分別徹底や食品ロスの削減に加え、古紙類のリサイクルルートへの誘導など資源化に向けた取組を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大により、資源回収活動が休止されたこと等により、ごみの資源化率が減少した。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	くさつエコスタイルプラザ	△	ごみ問題を考える草津市民会議が主催となり、行政との協働により、3Rの推進に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、複数の事業を中止したことから、啓発活動が十分にできなかった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ減量化推進事業	環境政策課
ごみ減量化推進事業	くさつエコスタイルプラザ
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築

施策番号	14-03-②
施策名	廃棄物の適正処理

施策の概要
 適正な収集体制の堅持と新クリーンセンターの整備によって、引き続きごみを適正に処理します。また、同センターを資源循環型社会づくりの拠点として、施設見学者の受け入れや市民活動の積極的な展開を図ります。

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm ³)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		1.0	0.1	0.1	0.1
実績値	0.026	0.014	0.00018	0.00017	0.0012

成果指標実績に対するコメント
 一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう施設の運転を行った結果、旧施設の排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm³も満たすことができました。

施策の達成度評価
 平成30年3月16日に本格稼働した新クリーンセンターについて、これまでどおり適正なごみ処理に努めた。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた新施設の基準値(1ng-TEQ/Nm³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物の定期収集を行うことにより、生活環境の保全に努めた。
廃棄物処理施設整備事業	資源循環推進課	○	旧クリーンセンターの跡地を有効利用するための解体工事を実施するため、検討を進めた。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
広域廃棄物物理立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
ごみ収集運搬事業	くさつエコスタイルプラザ

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築

施策番号	14-03-③
施策名	環境美化の推進

施策の概要
 ごみの不法投棄防止のため、定期的なパトロール等を実施するほか、市民・事業者・行政等が協力し、環境美化に努めます。

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率: 不法投棄ごみ量/ごみ発生量(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
実績値	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02

成果指標実績に対するコメント
 令和元年度と比べ、不法投棄ごみ量は1,550kg減少したが、全体のごみ量も減少したため、不法投棄ごみ率は同率となった。

施策の達成度評価
 パトロール回数を増やしたことや重点地区への監視を強化したことにより、回収した不法投棄ごみ量は減少し、パトロールによる一定の効果がみられる。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 事業効果の高いパトロールを引き続き実施するとともに、監視カメラやダミーカメラを有効に活用し、粘り強く不法投棄の解消を目指す。また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、不法投棄ごみ量が減少したと考えられる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	不法投棄ごみ量が減少しており、パトロール業務の継続や監視カメラ設置が不法投棄の抑制につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
放置自動車廃物判定委員会運営事業	資源循環推進課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。